

R P A活用可能性のある業務等に関する講習会及びアンケートの実施について

情報政策課・未来の芽創造課・行政管理課

1 R P A活用の目的

現在、職員が行っている単純作業等の業務をロボットに代行させ、職員は市民対応や政策立案といった職員にしかできない業務に専念することで、市民サービスの満足度向上や職員の働き方改革につなげることを目的にR P Aの活用を進めます。

※ R P Aとは

職員が行うパソコン業務の処理手順を記憶させることで、エクセルやワード、ブラウザなど様々なアプリケーションを横断し業務の自動化を実現します。一旦登録してしまえば、高速度で休むことなく、しかもミスすることなく事務作業をこなします。このようなツール（ロボット）を活用し、業務効率化を図る手段をR P A（ロボテック・プロセス・オートメーション：「ロボットによる業務自動化」）と呼びます。

一方、市の業務では、いまだ紙帳票による処理・管理が多く、ロボットだけでは事務効率化を望めません。そこで、紙帳票をスキャナーで読み取り、さらにOCRというツールを使い、記載内容をデータ化し、ロボットが取り扱うことのできる形態に変換することにより、紙帳票を目で見て、記載内容をシステムに入力するといった一連の業務をロボットが代行できるようになります。本市では、このR P AとOCRのツールを組み合わせた実証を行います。

2 今後の予定

(1) R P A活用講習会（別紙1のとおり）

ア 日時・会場

(ア) 概要編：令和元年11月13日（水）午前9時30分～11時30分

(イ) 実践編：同 14日（木） 同時間

会場は共に、第一コミュニティセンター（桃井小に併設）ホール

イ 趣旨

R P Aの特徴、活用事例などの紹介に加え、実際の動作デモをご覧いただき、R P A活用への理解を深めます。また、日頃の業務に対する気付きのきっかけとしていただき、次項に挙げるアンケートにてアイデアをお寄せください。

(2) R P A活用アンケート（別紙2のとおり）

ア 回答期間

令和元年11月5日（火）～11月29日（金）

イ 趣旨

今年度、情報政策課では実験的にR P Aツールを導入しました。今後、各部署でも、どんな業務であれば効果的に機能するのかを実験する予定です。そこで、各部署にはR P Aに適したどのような業務があるのかという点について、参考とするためアンケートを実施します。

(3) R P A活用ヒアリング及び実証実験

ア 時期

令和元年12月以降

イ 趣旨

今年度から次年度にかけて、前項のアンケート結果を基に最もR P A活用が適していると考えられる業務について、担当部署とヒアリングを行い、実際にR P Aを活用した実験を行います。

内 情
令和元年 11 月 5 日

各所属長 様

情報政策課長
未来の芽創造課長
行政管理課長

R P A活用講習会の実施について（依頼）

R P A（ロボティック・プロセス・オートメーション：「ロボットによる業務自動化」）を活用することにより、職員が行っている単純作業等の業務をロボットに代行させ、職員は市民対応や政策立案といった職員にしかできない業務に専念することで、市民サービスの満足度向上や職員の働き方改革につなげることを目的に導入を進めています。このことについて、貴管下職員へもご理解とご協力をいただきたく、下記のとおり講習会を実施します。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、本講習会へのご参加をお願いいたします。

（情報政策課情報政策係）

記

1 開催日時

(ア) 概要編：11月13日（水）午前9時30分～11時30分

(イ) 実践編：同 14日（木） 同時間

※ 概要版では、主にR P Aの概要説明や動作デモを行います。実践版では、導入に向けた自業務の洗い出し及び分析の手法を学びます。

※ 実践編にご参加いただくには、まず概要編からご参加いただくことをお勧めします。

※ 対象人数は、概要編は40～50名程度、実践編は20～30名程度を想定しています。

2 会 場 第一コミュニティセンター ホール

3 対 象 者 全所属の職員

特に、日頃から「大量で反復性の多い業務」について何とか効率化できないかとお考えの所属は積極的に出席をお願いいたします。

4 報告方法 出席者の報告は“しんふおにいー各種業務D B－照会／回答”内の「R P A活用講習会出席者報告書」に出席者の氏名等を入力してください。【入力期限：11月8日（金）】

情報政策課
担当 綱島・三吉
内線 4112

内 情

令和元年 11月 5日

各所属長 様

情報政策課長
未来の芽創造課長
行政管理課長

R P A活用可能性のある業務に関するアンケートについて（依頼）

このことについて、今後のR P A活用について参考にするため、下記のとおりアンケートを実施します。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、回答へのご協力をお願いします。

（情報政策課情報政策係）

記

- 1 対象職員
貴管下全職員（臨時職員を除く）
- 2 アンケート項目
全庁掲示板上のリンク先アンケート画面のとおり
- 3 回答方法
全庁掲示板上のリンクからアンケート画面を開き、記載説明に従い回答の上、終了しましたら「保存して閉じる」を押下してください。
- 4 回答期限
令和元年 11月 29日（金）

情報政策課
担当 綱島・三吉
内線 4112

R P A活用可能性のある業務に関するアンケート

R P Aとは、ロボットにより業務を自動化する手法です。現在、職員が行っている単純作業等の業務をロボットに代行させ、職員は市民対応や政策立案といった職員にしかできない業務に専念することで、市民サービスの満足度向上や職員の働き方改革につなげようとするものです。

例えば、他市では次のような業務への活用事例が見られます。

- 複数のエクセルシートから人件費推計票の作成
- 特別養護老人ホーム入所申込状況の調査集計
- 教職員名簿の作成
- 償却資産申告書のシステム入力
- 市民税特別徴収異動届のシステム入力
- 軽自動車税における新車登録・廃車登録のシステム入力
- 生活保護費の支給事務
- 予防接種の管理業務
- 健康診断の結果通知書の作成 等

これらを参考に現在又は過去、あなたが従事した業務において、効率化が必要だと思われるもののうち、特に以下の特徴のある業務について挙げてください。

※ 業務の一部、例えば「紙帳票を見ながら、システム入力する」といったものでも構いません。

※ 現在はすでに従事しておらず、現状の事務を把握していない場合は、当時のようすでお答えいただいても構いません。

※具体的に、「誰が」「何を」「どのように」について、詳しくお答えください。

①大量で反復性の多い業務

②パソコン上だけで完結する業務（異なるシステム間のデータ移動など）

③職員が関与しなくても、嘱託員のみで完結できる業務